

科目名	法律学概論Ⅰ（国際法を含む）			担当教員	斎藤 孝	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SLP201
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	法について学ぶ					
授業の概要	法に関する基本（総論）についてまなぶ。 パワーポイントなどのデジタル機能は用いません。					

授業計画	
第1回	社会規範について
第2回	法と道徳について ーその違い
第3回	法と道徳について ーその関わり
第4回	法の目的について ー法的安定性
第5回	法の目的について ー正義
第6回	法の形式について ー成文法
第7回	法の形式について ー不文法
第8回	法の効力について ー範囲
第9回	法の効力について ー妥当性と実効性
第10回	法の解釈について ー意義
第11回	法の解釈について ー種類
第12回	法の解釈について ー態度と限界
第13回	法の運用につて ー民事紛争から
第14回	法の運用につて ー労働紛争から
第15回	まとめ

事前学修	2時間	単元の予習
事後学修	2時間	学習した内容の復習
フィードバックの方法	最終授業日に試験の解説をおこなう。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	100%	レポート内容
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし

科目名	法学概論Ⅱ			担当教員	磯村 ひとみ	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SLP402
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	私たちの日常生活に密接した身近な話題を題材とし、法律の基礎知識を習得するとともに、リーガルマインドを養うことを目指します。 具体的には、以下の到達目標を設定します。 １．憲法が保障する自由と、国家権力の制限の仕組みを理解し、その重要性を説明できる。 ２．主要な法律分野（民法、刑法、労働法、行政法、社会保障法）の基本的な内容を理解し、説明できる。 ３．日常生活における法律問題について、基本的な法的知識を用いて考察し、解決策を検討できる。					
授業の概要	憲法、民法、刑法、労働法、行政法、社会保障法といった主要な法律分野について、具体的な事例を交えながら解説します。 デジタル技術利用①③					

授業計画	
第1回	法とは何か （１）法はどのような意味を持っているのか（２）裁判による紛争解決（３）法の適用（４）法解釈の方法
第2回	立憲主義と法の支配 （１）近代立憲主義（２）現代立憲主義（３）法の支配と法治国家
第3回	憲法とは何か （１）憲法の歴史（２）日本国憲法の成立（３）日本国憲法の基本原理
第4回	国民主権と選挙 （１）権力性の契機・正当性の契機（２）直接民主制と間接民主制（３）参政権とは
第5回	民法（所有権・契約法） （１）所有権（２）物権変動（３）契約（４）任意規定・強行規定
第6回	民法（不法行為法） （１）権利侵害・違法性（２）故意・過失（３）不法行為の救済方法（４）製造物責任
第7回	家族と法 （１）婚姻制度（２）離婚の成立と効果（３）親子関係の発生（４）相続
第8回	刑法 （１）犯罪と刑罰（２）犯罪の成立要件（３）違法性（４）責任
第9回	刑事手続と法 （１）刑事手続と憲法（２）捜査と被疑者弁護（３）公訴・公判手続（４）刑事手続・刑事司法のゆくえ
第10回	経済活動と法 （１）会社法（２）独占禁止法（３）知的財産権（４）消費者法
第11回	行政と法 （１）行政の役割と存在理由（２）法治主義（３）行政裁量のコントロール（４）情報公開と適正手続
第12回	労働法 （１）労働条件（２）労働時間規制と賃金の保障（３）職場における健康・安全の保障と補償（４）労働組合の意義と役割
第13回	社会保障法 （１）医療保険・雇用保険（２）年金・介護保険（３）児童福祉・障害と社会保障（４）生活保護
第14回	日本の司法制度 （１）司法（２）裁判（３）訴訟（４）司法アクセス
第15回	まとめ 第1回～第14回までの復習

事前学修	2時間	学習資料の講義内容に該当する部分を読んでおくこと。
事後学修	2時間	講義の重要ポイントをまとめておくこと、関連する判例を調べておくこと。
フィードバックの方法	課題の解説を次回の講義時間内に行います。 メールやオンライン（ユニバ）で質問を受け付け、回答します。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		50%	事実と意見を区別しているか、論理的であるかを評価基準にします。
上記以外の試験・平常点評価		50%	発言ポイントを加算します。
定期試験		0%	
補足事項	レポート作成における注意点 本講義では、生成AI（ChatGPT、Geminiなど）を用いたレポート作成は認めません。 レポートは、自身の考察と参考文献に基づき、オリジナルの文章で作成してください。 生成AIを利用した場合、成績評価の対象外となります。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
学習資料を配布します	なし	なし	なし	なし
参考資料				